

□ ■ (株)技術情報センター ————— ■ □

「いいテク・ニュース」
～ Ecology & Energy-Techno News ～

□ ■ ————— 2012.3.14 Vol.110 ■ □

今週は週はじめから寒い日が続きましたが春はすぐそこまで来ています。

気象庁の生物季節観測状況によりますと、たんぽぽの開花前線は着実に北上し、本日3月14日には日本列島の中央に近い甲府市で開花予想がされています。

たんぽぽの葉はサラダにしたり、根を乾燥させて炒ったものがたんぽぽコーヒーとして飲まれたり、アメリカでは花弁をタンポポワインとして用いられたりしています。

葉に含まれる成分にC型肝炎ウイルスを抑制する効果があり、根には健胃・利尿・催乳などの効果があるとされています。

また、たんぽぽの茎は草笛として使われます。

たんぽぽのサラダの話野の話

高野素十(たかの すじゅう)
(1893-1976)

(株)技術情報センター「いいテク・ニュース」第110号をお届けいたします。

今回は2012年4月開催13セミナーと新規取り扱い書籍情報をお届け致します。

最後までお読みいただくとありがたいです。

□ ■ ————— ■ □
index

□ ■ ————— ■ □

- ◇セミナー情報[2012年4月開催セミナー/13件]
- ◇おすすめセミナーPick Up
- ◇新規取り扱い書籍情報(3タイトル)
- ◇セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数Top10
- ◇E-mail変更・不要について
- ◇あしがき

□ ■ ————— ■ □
セミナー情報
[2012年4月開催セミナー/13件]

□ ■ ————— ■ □

当社主催セミナーを、日付順でご案内致します。
詳細につきましては、各セミナータイトルの下にございますURLにてご案内致しております。

■ 4月 4日(水)-----

LNG利用における技術・装置の最新動向
<http://www.tic-co.com/seminar/20120404.html>

■ 4月 5日(木)-----

小水力発電(マイクロ水力発電など)の
経済性・導入と技術開発動向
<http://www.tic-co.com/seminar/20120403.html>

～プラント関連を中心とした～
エンジニアのための設備コストの見積法入門
<http://www.tic-co.com/seminar/20120408.html>

■ 4月 6日(金)-----

放射性セシウムの抽出・回収・除去と
汚染水・土壌等の減容化及び閉じ込め技術
<http://www.tic-co.com/seminar/20120410.html>

有機溶剤(VOC)等の処理・回収・リサイクル技術
<http://www.tic-co.com/seminar/20120406.html>

■ 4月10日(火)-----

プラント建設における施工と管理の進め方
<http://www.tic-co.com/seminar/20120405.html>

排水(廃液)中レアメタル及び重金属等の
処理・回収・リサイクル技術
<http://www.tic-co.com/seminar/20120412.html>

■ 4月11日(水)-----

メカニカルシールの使用条件に合った選定・活用と
トラブル改善事例、最近の技術動向
<http://www.tic-co.com/seminar/20120402.html>

1,4-ジオキサン排水規制と処理技術の開発動向
<http://www.tic-co.com/seminar/20120411.html>

■ 4月12日(木)-----

—Excelソフト付き！！ 演習により即活用できる—
乾燥技術の基礎と実践活用
～乾燥に関する計算から、装置選定・設計・性能評価、
省エネ・トラブル対策まで、実習を交え平易に解説～
<http://www.tic-co.com/seminar/20120401.html>

—電気事業制度の動向と売電関連ビジネスの今後を読み解く—
電力売電ビジネスの現状と展望
～PPSから見た電力システムの課題と今後のビジネスの可能性～
<http://www.tic-co.com/seminar/20120409.html>

■ 4月13日(金)-----

圧力容器の強度設計と供用適性評価技術
～強度設計から損傷評価を行うためのポイント～
<http://www.tic-co.com/seminar/20120407.html>

天然ガスコージェネレーションシステムの
技術開発動向と各種システム・導入事例等実際
<http://www.tic-co.com/seminar/20120413.html>

各月毎のご案内を、下記URLにご用意致しておりますので是非一度
ご覧頂けましたら幸いです。

■ 2012年3月開催セミナー
<http://www.tic-co.com/seminar/seminar-03.html>

■ 2012年4月開催セミナー
<http://www.tic-co.com/seminar/seminar-04.html>

※開催決定・開催終了分より、随時追加・削除されていきますので、
最新の情報は上記URLをご参照下さいませ。

■ -----
おすすめセミナーPick Up

■ -----

今回のPick Upセミナーは

－電気事業制度の動向と売電関連ビジネスの今後を読み解く－
『電力売電ビジネスの現状と展望』
～PPSから見た電力システムの課題と今後のビジネスの可能性～
です

●講師 (株)エネット 経営企画部長
(元)(株)NTTファシリティーズ
ソーラープロジェクト本部 副本部長 谷口直行 氏

<講師紹介>

1989年、日本電信電話(株)入社
長距離伝送装置の開発SE、日米資材調達協定に
基づく国際調達業務に従事
2000年、(株)エネット 経営企画部
電力小売会社の立ち上げ、電気事業制度設計
への対応
2006年、(株)NTTファシリティーズ
支店における企画業務を2年間従事した後、
太陽光発電システムの普及ビジネスに従事
2010年、(株)エネット 経営企画部
事業戦略、電気事業制度改革への対応

●日時 2012年4月12日(木)10:15～16:15

●会 場 東京・新お茶の水・総評会館・4F会議室

●受講料 49,980円(1名につき)
(同時複数人数お申込みの場合1名につき44,730円)
※テキスト代、昼食代、お茶代、消費税を含む

本セミナーでは、電力自由化の現状や電力供給の課題から制度改革の動向及び全量買取制度と具体的なビジネス(売電ビジネス、発電ビジネス、デマンドレスポンスビジネス、スマートコミュニティ関連ビジネス)の可能性・展望、又、エネットにおける事例を交え斯界の第一線で活躍中の谷口講師に詳説頂きます！！

【受講対象】

主に企業の経営企画・事業計画・エネルギー関連エンジニア・動力・施設・工務・サービス開発・設計・技術管理担当者。

【予備知識】

上記対象者であれば専門知識は特に必要ございません。

【習得知識】

- ・電気事業制度に関する知識
- ・電力自由化のポイントと課題
- ・売電ビジネスの選択肢と特徴
- ・電力システム改革による新たなビジネスチャンスの可能性

【講師の言葉】

震災後の不安定な電力需給状況により、需要サイドの取り組みの重要性が一層高まる中、「供給者からの押し付けではなく、お客様(需要者)目線に立ったサービスとはどうあるべきか。」といった視点からビジネスを考える重要性が増している。

ここでは、震災後の電力供給システムのあり方が問われる中で、制度改革の動向等を踏まえ、事業環境がどのように変化していくかを考察するとともに、今後のビジネス検討の一助となるよう、電力小売ビジネスを切り口として見た場合の発電事業への要求条件や、電力小売事業者に求められる条件など、新たなサービス事例の効果も紹介しながら新たなビジネスチャンスの可能性を考える。

【プログラム】

I. 電力自由化の概要と現状(電力自由化の現状の仕組みを理解)

- ・電気事業制度の概要
- ・電力自由化の特徴
- ・電力自由化の成果
- ・電力自由化の進展状況(競争の実態)
- ・諸外国における電力自由化の特徴

II. 東日本大震災と電力供給(震災による影響・課題を考える)

- ・震災による電力供給への影響
- ・需要サイドでの対応とインパクト

- ・供給サイドの対応と電力市場への影響
- ・震災により顕在化した課題

III. 震災後の制度改革をめぐる動き(制度改革等をめぐる政策動向を把握)

- ・当面のエネルギー需給安定化対策の方向性
- ・革新的エネルギー・環境戦略策定に向けた動き
- ・電力システム改革に関するタスクフォース論点整理
- ・省エネ法改正による需給逼迫への対応

IV. 全量買取制度(再生可能エネルギー特別措置法)の概要

- ・再生可能エネルギーの現状と特徴
- ・買取の対象設備、発電設備の区分
- ・買取価格と買取期間
- ・環境価値の活用方法

V. 電力自由化における売電ビジネスの形態(売電ビジネスの形態)

- ・電力供給システムをめぐる様々な取り組み
- ・電力小売ビジネス
- ・発電ビジネス
- ・デマンドレスポンス(DR)・ビジネス
- ・スマート・コミュニティ関連ビジネス

VI. 日本卸電力取引所(JEPX)の状況と発電ビジネスの可能性

- ・JEPXの概要と現状
- ・現在の仕組みにおける通常売電モデル(火力・水力)
- ・各発電設備に求められるコスト水準
- ・今後、制度改革により広がるビジネスの可能性

VII. デマンドレスポンス(DR)・ビジネス

- ・海外におけるデマンドレスポンス市場の動向
- ・デマンドレスポンスサービスの事例
- ・日本におけるデマンドレスポンス・ビジネスの可能性

VIII. スマート・コミュニティ関連ビジネス

- ・スマート・コミュニティにおける様々なビジネス
- ・スマート・コミュニティ関連の取り組み事例
- ・ビジネス展開における課題

IX. (株)エネットにおける取り組みと今後の展望(エネットの取り組み紹介)

- ・電力小売ビジネスと事業展開状況
- ・電力需給契約における留意点
- ・エネットのサービス
- ・スマート関連ビジネスへの取り組み
- ・日本初のデマンドレスポンス・サービス(商用)
- ・今後の展望

X. 質疑応答

— 名刺交換会 —

セミナー終了後、ご希望の方はお残り頂き、講師と参加者間での名刺交換会を実施させていただきます。

お申し込み・お問い合わせ等は下記URLにてお願い致します。

<http://www.tic-co.com/seminar/20120409.html>

□ ■ _____ ■ □
新規取り扱い書籍情報(3タイトル)

□ ■ _____ ■ □

新たにお取り扱い致します書籍を、分野別にご案内致します。
詳細につきましては、各書籍タイトルの下にございますURLにてご案内致しております。

-----《 環境 》-----

バイオ活用による汚染・廃水の新処理法
<http://www.tic-co.com/books/2012t841.html>

-----《 医薬品・先端医療関係 》-----

3極要求相違を踏まえたCMC申請資料作成と当局対応ノウハウ
<http://www.tic-co.com/books/12stp067.html>

-----《 界面化学 》-----

UV硬化プロセスの最適化[新装版]
<http://www.tic-co.com/books/12stb002.html>

□ ■ _____ ■ □
セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数Top10

□ ■ _____ ■ □

2012年 2月 1日から 2月29日までの1ヶ月間のセミナー及び書籍のWebページアクセス数Top10を挙げてみました。

..... ★ セミナー Top10 ★

第1位 『放射性セシウムの抽出・回収・除去と
汚染水・土壌等の減容化及び閉じ込め技術』
(4月 6日(金)開催) 625 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20120410.html>

第2位 —水処理・汚泥処理の効率化・低コスト化・省エネを考慮した—
『凝集剤の特性と効果的選定・活用法』
～実演を交えて解説する～
(3月29日(木)開催) 538 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20120302.html>

第3位『小水力発電(マイクロ水力発電など)の
経済性・導入と技術開発動向』
(4月5日(木)開催) 434 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20120403.html>

第4位『メカニカルシールの使用条件に合った選定・活用と
トラブル改善事例、最近の技術動向』
(4月11日(水)開催) 406 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20120402.html>

第5位『濾過・圧搾のメカニズムと実装置への応用』
(3月28日(水)開催) 356 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20120301.html>

第6位 ―Excelソフト付き!! 演習により即活用できる―
『乾燥技術の基礎と実践活用』
～乾燥に関する計算から、装置選定・設計・性能評価、
省エネ・トラブル対策まで、実習を交え平易に解説～
(4月12日(木)開催) 354 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20120401.html>

第7位 ―電気事業制度の動向と売電関連ビジネスの今後を読み解く―
『電力売電ビジネスの現状と展望』
～PPSから見た電力システムの課題と今後のビジネスの
可能性～
(4月12日(木)開催) 277 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20120409.html>

第8位 ～耐食性を中心とした～
『ステンレス鋼の選び方・使い方とトラブル対策』
(3月29日(木)開催) 210 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20120303.html>

第9位『波力・塩分濃度差・海洋温度差・海流・潮流発電の
動向と技術開発及び実証・取り組み』
(3月30日(金)開催) 204 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20120305.html>

第10位『太陽光発電における系統連系技術と
発電設備設置に係わる法令と諸手続』
(3月28日(水)開催) 175 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20120304.html>

今回は第1位に『放射性セシウムの抽出・回収・除去と汚染水・土壌
等の減容化及び閉じ込め技術』がランクイン。

放射性物質及び含有廃棄物の処理・回収・除染・減容・封じ込めなど
に向け、研究開発が活発化しており、放射性セシウムを中心にした汚
染水及び汚染土壌・焼却灰などからの抽出・回収・除染と処理・減容
化、又、安定閉じ込め技術についてのプログラムが多くのアクセスを
生んだのでしょうか。

..... ☆ 書籍及び調査資料 Top10 ☆

第1位『水処理膜の製膜技術と材料評価』 236 counts

<http://www.tic-co.com/books/12sta075.html>

第2位『エアロゾルデポジション法の基礎から応用まで』

184 counts

<http://www.tic-co.com/books/2008t624.htm>

第3位『プラスチックオプティカルファイバの基礎と実際』

160 counts

<http://www.tic-co.com/books/01nts005.htm>

第4位『表面処理技術ハンドブック』 131 counts

<http://www.tic-co.com/books/01nts006.htm>

第5位『レアアースの最新技術動向と資源戦略』 117 counts

<http://www.tic-co.com/books/2011t806.html>

第6位『異種材料一体化のための最新技術』 116 counts

<http://www.tic-co.com/books/12sta076.html>

第7位『バイオ医薬品開発における糖鎖技術』 114 counts

<http://www.tic-co.com/books/2011t827.html>

第8位『ワイヤレス給電技術の最前線』 107 counts

<http://www.tic-co.com/books/2011t838.html>

第9位『カーボン製品市場の徹底分析』 104 counts

<http://www.tic-co.com/books/2011p361.html>

第10位『最新熱設計手法と放熱対策技術』 101 counts

<http://www.tic-co.com/books/2011t833.html>

第1位に『水処理膜の製膜技術と材料評価』がランクイン。

成長市場である「水ビジネス」で最も期待されている「水処理膜」技術。

水処理膜の透過・濾過の基本メカニズムから材料・用途別製膜法、最新の水処理膜技術など詳説されている内容が注目されているでしょう。

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

■ _____ ■

E-mail変更・不要について

■ _____ ■

E-mailアドレスが変更になった場合は、件名に『アドレス変更』とご記入頂き、本文には、

★ 旧E-mailアドレス

★ 新E-mailアドレス

をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますようお願い申し上げます。

今後このご案内メールが不要でございましたら、件名に『不要』

とご記入頂き、本文には、

★ E-mailアドレス
をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますよう
お願い申し上げます。

※下記URLでも承っております。

<http://www.tic-co.com/merumaga.html>

※このメールの返信にてお問い合わせをされますと、処理の都合
上、ご回答までに一週間以上頂く場合がございます。
お問い合わせは info@tic-co.com までお願い致します。

□ ■ _____ ■ □
あとがき
□ ■ _____ ■ □

『梅』と『桜』

今年は寒さが厳しい冬でした。

その影響で梅の開花も例年より1～3週間遅くなっているようです。

地域によっては梅と桜の花が同時に観れるとの予報も出ています。

今回は『梅』と『桜』に関することわざを集めてみました。

◎梅

☆花も実もある☆

外観だけでなく、内容も充実していること。

また、道理も人情もよくわきまえている人物を「花も実もある」と表現します。

春に先がけて花が咲き、実は食品として役立つことから
「花も実もある」植物は「梅」を指すとされています。

☆塩梅(あんばい)☆

あんばいとは、具合・加減・程度のことで、漢字表記には
「塩梅」と「按排」「按配」「案配」「案排」があります。

塩梅の本来の読みは「えんばい」で、塩と梅酢を合わせた
調味料を意味していました。

その味加減が良い物を「塩梅(えんばい)」と言うようになり、
酢に味醂(みりん)・酒・砂糖や香辛料を加えて調味した
「加減酢(かげんず)」を「塩梅酢(あんばいず)」とも言
います。

そのことから「塩梅(あんばい)」という言葉は料理用語と
して使われていましたが、うまく処理するといった意味と
して使われることもあります。

現在では、とても具合のよいことを「いい塩梅」といい、
幅広く使われるようになりました。

☆梅根性(うめこんじょう)☆

NHKの朝ドラ「てっぱん」の中で富司純子さんが演じるおばあちゃんが使っていました。

良い意味での頑張り屋さんのことを「梅根性(うめこんじょう)」といいます。

梅は干しても煮ても焼いても酸っぱいことから、頑固でなかなか変わらない性質、性格のことを指します。

逆に渋柿は干したり焼いたりすればすぐに渋(しぶ)が取れ甘くなることから、一見頑固そうですが、変わりやすい性格を「柿根性」といいます。

☆梅はその日の難逃(なんのが)れ☆

朝、梅を食べれば、その日一日、災難から逃れることができる、ということ。

梅に含まれるクエン酸は疲労回復や殺菌効果があるので、昔から病気の予防に使われてきました。

旅人が、その土地特有の熱病や風土病にかからないように、梅干を「薬」として携帯していたのです。

今でも旅館などで、朝食に梅干が出されるのは、このためです。

☆松竹梅☆

松竹梅は、中国の論語の言葉の「歳寒三友(さいかんさんゆう)」が伝えられたもの。

冬の寒い季節転じて、乱世や逆境の時に友とすべき三つのものを指し、松・竹・梅に例えられています。

「松」は厳冬にも落葉せず、断崖絶壁にも良く根を張ることから忍耐強く、真心を尽くす人。

「竹」は節を持った人。また隠し立ての無い正直な人。

「梅」は冬から咲く事から、激しい状況でも笑顔を絶やさない人。

また梅の実には、やがて落ちても芽を出す事から、生命力のあかしとされています。

◎梅と桜

☆桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿☆

庭木の剪定法をいったことばで、桜は枝を切るとそこから腐りやすいので切ってはいけないが、梅は切らないとむだな枝が伸びて翌年良い花・実が付かない。

また、桜の枝は切らずに折るほうが良く、梅の枝は折らずに切るのがよいこと。「切る」は「伐る」とも書きます。

☆梅と桜を両手に持つ☆

良い物を両手に持つ、ということで、良いことの上に、さらに良いことがあること。

「両手に花」と同じ意味。香りのよい梅と、見た目の美しい桜をセットにしたもの。

平安時代の末に編纂された『後拾遺和歌集(ごしゅういわかしゅう)』の

「梅が香を 桜の花に にほわせて 柳が枝に さかせてしがな」
に由来しています。

◎桜

☆桜は花に顕(あらわ)れる☆

他の木に交じっている桜の木はふだんは地味で目立たないが、一旦、花を咲かせた時は一目で桜と分かります。

人間もふだんは平凡に見える人が何かの機会に優れた才能を発揮することのたとえ。

平安時代の『詞花集』に

「みやま木の その梢とも 見えざりし 桜は花に あらはれにけり」
と詠まれています。

またこの歌は『平家物語』などにも見られます。

☆花が見たくば吉野へござれ☆

桜の花が見たければ、一目千本として名高い桜の本場の吉野へおいでなさいという意味から「何事も本場へ行って本物に触れることが大切だ」というたとえ。

☆明日ありと思う心のあだ桜☆

親鸞聖人が詠んだ、

『明日ありと思ふ心のあだ桜、夜半に嵐の吹かぬものかは』

から、この世は無常であり、今は盛大に咲き誇っていても、夜半に嵐が吹けば桜は一瞬にして散ってしまう。やるべきことは必ずできる時にやって、明日にしようというが如き気持ちではいけないということ。

人間のことを桜に例えて戒めた歌。

その時のエピソードがあります。

親鸞が9歳の時、出家しようと京都 青蓮院 慈円和尚の元へ行きましたが、既に夜も更けていたので慈円和尚が「今夜はとりあえず休め」と言ったところ、この歌を詠んだとされています。

慈円和尚はこの歌に心打たれ、すぐに得度の手配をされたといわれています。

☆世の中は三日見ぬ間の桜かな☆

大島蓼太(おおしま りょうた)(1718-1787)の句。

正しくは「三日見ぬ間に桜かな」。

家にひきこもって三日ほど経って外出してみると、世間はすっかり桜の盛りである、ということ。

「に」を「の」に変えたことで、世の中の転変をいう句であるという意味合いが強くなりました。

あとがき全体を通しての出典:フリー百科事典
『ウィキペディア(Wikipedia)』

梅と桜に関することわざを集めてみましたが、「梅」に関するものは実的なものも多く、「桜」はその美しさと儂さを伝えるものが多くあり、くっきりと分けられました。

同じ春に咲く花なのにこれ程印象が違うのですね。

はなあびてあかごのあくびあやしのわ

白井芳雄

今回は梅と桜に関することわざをお届けしました。

最後までお読みいただきありがとうございました。

(株)技術情報センター メルマガ担当 白井芳雄

本メールマガジンのご感想や本メールマガジンへのご意見・ご要望等 melmaga@tic-co.com まで、どしどしお寄せ下さいませ。

////////////////////////////////////

『 - その先の、深い情報へ。 - 』

(株)技術情報センター

〒530-0038 大阪市北区紅梅町2番18号 南森町共同ビル3F

[TEL] 0120-06-0140 / 06-6358-0141

[FAX] 06-6358-0134

[URL] <http://www.tic-co.com/>
[E-mail] info@tic-co.com